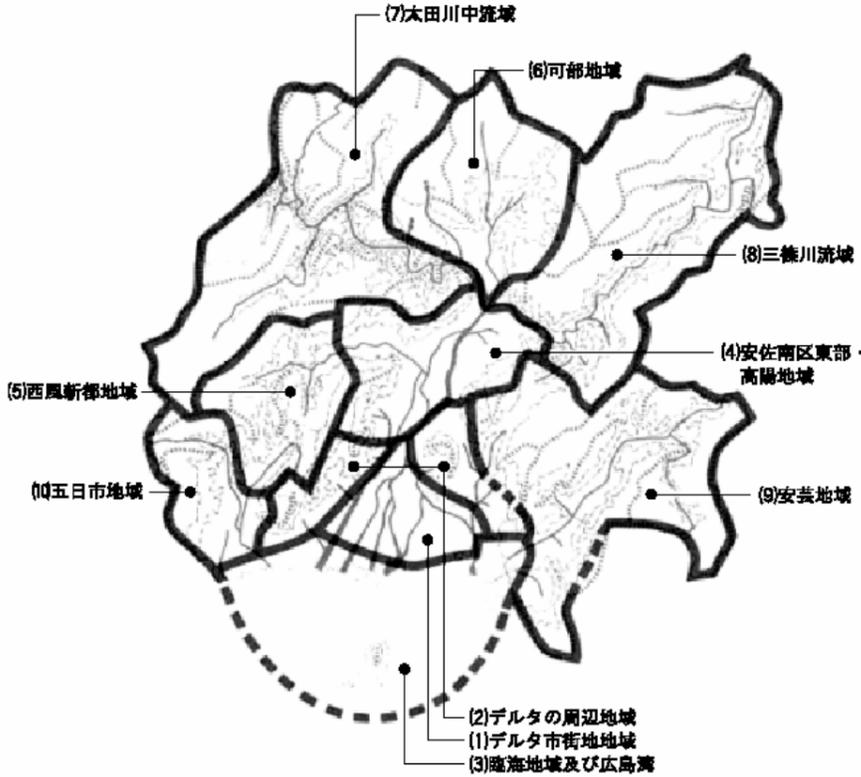


地域の環境特性の現行・改定案対照表

現 行	改 定 案	改定の理由、考え方												
<p>地域区分図</p>  <p>2 地域の環境特性 地域区分ごとの環境の特性を以下に示す。</p> <p>(1) デルタ市街地地域 ア 環境の自然的構成要素の良好な状態の保持 商工業地区が多く、他地域に比べ、昼間人口が多く、人口密度が高い。 一極集中化が進んでおり、昼間に地域外から自動車が大量に流入してくるため、幹線道路などの沿道では、自動車による大気汚染、騒音の影響が大きい。 太田川放水路を除く市内派川については、概ね環境基準を達成しており、100万都市を流れる河川としては、良好な水質を保っている。 府中大川は、流域の居住人口が多く未処理の生活排水の流入等により、水質汚濁が顕著になっている。</p>	<p>地域区分図</p>  <p>2 地域の環境特性 地域区分ごとの環境の特性を以下に示す。</p> <p>(1) デルタ市街地地域 ア 環境の自然的構成要素の良好な状態の保持 （現行どおり） デルタ地帯を流れる6河川は、いずれも環境基準（BOD）を達成しており、100万都市を流れる河川としては良好な水質が保たれている。 <u>（削除）</u></p>	<p>環境基本計画に基づき、旧湯来町地域を2つの流域別に加えるため、記述を変更する。</p> <p>河川のBODに係る環境基準及び類型指定状況</p> <table border="1"> <tr> <td>太田川放水路</td> <td>B 類型 (3 mg/L 以下)</td> </tr> <tr> <td>天満川</td> <td>A 類型 (2 mg/L 以下)</td> </tr> <tr> <td>旧太田川 (本川)</td> <td>A 類型 (2 mg/L 以下)</td> </tr> <tr> <td>元安川</td> <td>A 類型 (2 mg/L 以下)</td> </tr> <tr> <td>京橋川</td> <td>A 類型 (2 mg/L 以下)</td> </tr> <tr> <td>猿猴川</td> <td>B 類型 (3 mg/L 以下)</td> </tr> </table> <p>デルタ地帯を流れる6河川 (太田川放水路、天満川、旧太田川 (本川)、元安川、京橋川、猿猴川) は、H17年度のBODが2.0mg/L、1.1mg/L、1.1mg/L、1.2mg/L、1.2mg/L、1.7mg/Lであり、環境基準が達成されたことから、記述を変更する。</p> <p>府中大川は、H17年度のBODが3.3mg/Lであり、環境基準 (D 類型: 8mg/L 以下) が達成されたことから、削除する。</p>	太田川放水路	B 類型 (3 mg/L 以下)	天満川	A 類型 (2 mg/L 以下)	旧太田川 (本川)	A 類型 (2 mg/L 以下)	元安川	A 類型 (2 mg/L 以下)	京橋川	A 類型 (2 mg/L 以下)	猿猴川	B 類型 (3 mg/L 以下)
太田川放水路	B 類型 (3 mg/L 以下)													
天満川	A 類型 (2 mg/L 以下)													
旧太田川 (本川)	A 類型 (2 mg/L 以下)													
元安川	A 類型 (2 mg/L 以下)													
京橋川	A 類型 (2 mg/L 以下)													
猿猴川	B 類型 (3 mg/L 以下)													

地域の環境特性の現行・改定案対照表

現 行	改 定 案	改定の理由、考え方
<p>イ 生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全 太田川から分流した6本の河川が市街地を流れ、デルタを形成している。 太田川放水路には、貴重な塩生植物群落があり、干潟には多様な生物が生息している。 比治山、黄金山や皿山などには自然林が残存し、デルタが未発達であったころの島の名残をとどめている。 中心部の広島城、中央公園、縮景園、平和記念公園などでは、植栽された樹木が生長して落ちついた環境となっており、昆虫などの小動物の生息場所や移動途中の渡り鳥の休息場所となっている。 白神社の岩礁は、市天然記念物及び市史跡に指定されている。 新庄の宮の社叢は、県天然記念物に指定されている。</p> <p>ウ 人と自然との豊かな触れ合い 世界遺産である原爆ドームのある平和記念公園は、市民の憩いの場であるとともに、市外からも多くの人々が来訪する。また、中央公園や広島城等と近接しており、一体的なアメニティ空間を織り成している。平和大通りには、大きな街路樹空間があり、美しい都市景観を形成している。 比治山公園は、緑地が豊富で文化的施設が立地し、都心を一望できる高台となっており、憩いの場として市民に利用されている。 広島城跡、頼山陽居室等の多くの史跡が存在し、縮景園は、名勝に指定されている。また、草津地区には、古い街並みが見られる。 元安川などの親水機能を持った護岸は、憩いの場所として市民に利用されている。 太田川の河川敷は、身近な水辺空間を形成し、レクリエーションの場として、利用されている。</p> <p>エ 環境への負荷 密度の高い都市活動のため、ヒートアイランド現象が起こり、また廃棄物の排出量も多い。</p> <p>(2) デルタの周辺地域 ア 環境の自然的構成要素の良好な状態の保持 大規模な住宅団地が近接して存在し、団地からの自家用車により、幹線道路及びその周辺道路では時間帯によって、交通渋滞が発生している。 幹線道路の沿道では、自動車による大気汚染、騒音の影響が大きい。 <u>府中大川は、流域の居住人口が多く未処理の生活排水の流入等により、水質汚濁が顕著になっている。</u></p> <p>イ 生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全 デルタを取り囲む山なみは、都市景観の重要な要素となっているとともに都心の緑地に野生生物が移動する中継的な役割を担うと考えられる。 山地部のアカマツ林では、松枯れが進行しているが、一部では回復している。 二葉山緑地、牛田緑地、浅野山緑地及び三滝緑地には自然林が残されている。</p>	<p>イ 生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全 (現行どおり)</p> <p>ウ 人と自然との豊かな触れ合い (現行どおり)</p> <p><u>国指定の</u>広島城跡、<u>頼山陽居室等の多くの史跡が存在し、縮景園及び平和記念公園は、国の名勝に指定されている。</u>また、草津地区には、古い街並みが見られる。 (現行どおり)</p> <p>エ 環境への負荷 (現行どおり)</p> <p>(2) デルタの周辺地域 ア 環境の自然的構成要素の良好な状態の保持 (現行どおり) <u>(削除)</u></p> <p>イ 生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全 (現行どおり)</p>	<p>文化財等について、指定の主体を明記する。 平和記念公園は、H19.2.6 に国の名勝に指定されたため、記述を加える。</p> <p>府中大川は、H17年度のBODが3.3mg/Lであり、環境基準(D類型：8mg/L以下)が達成されたことから、削除する。</p>

地域の環境特性の現行・改定案対照表

現 行	改 定 案	改定の理由、考え方
<p>特に二葉山には、シリブカガシが優先する常緑広葉樹林が発達している。 三瀧寺付近の溪流は、貴重な植物が生息している。 都市周辺では珍しく、ギフチョウ等貴重な生物の生息域となっている。</p> <p>ウ 人と自然との豊かな触れ合い 牛田地域の不動院金堂は国宝に、また、二葉山麓の<u>広島東照宮、國前寺及び三瀧寺は重要文化財に指定されている。</u></p> <p>不動院から東山町の才蔵寺に至る歴史の散歩道には、由緒ある神社・仏閣が連なり、歴史的資源が豊富である。 牛田緑地は、都心に近接しながらも豊かな緑に恵まれ、身近なハイキングの場として、また、野鳥観察の場として市民に利用されている。 牛田山の南斜面には、史跡である牛田の弥生文化時代の墳墓が存在している。 三瀧寺付近は、自然との触れ合いの場として市民に利用されている。 鈴が峰憩いの森及び鬼が城緑地は憩いの場として、大茶臼山は野鳥の観察など自然に親しむ場として市民に利用されている。 太田川流域は、野鳥の飛来地域となっており、市民の野鳥観察の場となっている。</p> <p>(3) 臨海地域及び広島湾</p> <p>ア 環境の自然的構成要素の良好な状態の保持 広島湾に面する地域は、流通拠点であるため、自動車による大気汚染、騒音が問題となっている。 広島湾は、<u>すべての環境基準点において海域の汚濁を表す代表的な指標であるCODが、環境基準を達成していない。</u> 広島西飛行場付近は、航空機騒音の影響がある。</p> <p>イ 生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全 地先地域は、埋立てが進み、自然海岸藻場及び干潟が消失している。 似島などの島しょ部の一部には、自然海岸が残っている。 元宇品には、広島県内でも有数の常緑広葉樹林がみられ、これに依存する動物相も豊かである。 八幡川河口の干潟は、西半分が埋立てによって失われたものの、全国的にも有名な水鳥の飛来地である。 江波山公園内にあるヒロシマエバヤマザクラは市天然記念物に指定されている。</p> <p>ウ 人と自然との豊かな触れ合い 瀬戸内海に浮かぶ島々は美しい景観を形成しており、また、広島湾、似島、元宇品などは、瀬戸内海国立公園に指定されている。 元宇品は、海に触れ合える場、自然林散策の場として市民に利用されている。 八幡川河口の干潟は、野鳥の観察の場として市民に利用されている。</p>	<p>(現行どおり)</p> <p>ウ 人と自然との豊かな触れ合い 牛田地域の不動院金堂は国宝に、また、二葉山麓の<u>國前寺は国の重要文化財に、広島東照宮は市の重要有形文化財に、三瀧山の三瀧寺は県の重要文化財に、それぞれ指定されている。</u></p> <p>(現行どおり)</p> <p>牛田山の南斜面には、<u>史跡である牛田の弥生文化時代の墳墓が存在している。</u></p> <p>(現行どおり)</p> <p>(3) 臨海地域及び広島湾</p> <p>ア 環境の自然的構成要素の良好な状態の保持 (現行どおり) 広島湾は、<u>これまで、ほぼ全ての年度において、環境基準(COD)を達成していない。</u></p> <p>(現行どおり)</p> <p>イ 生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全 (現行どおり)</p> <p>ウ 人と自然との豊かな触れ合い (現行どおり)</p>	<p>文化財等について、指定の主体を明記する。</p> <p>文化財等について、指定の主体を明記する。</p> <p>H17年度、広島湾の一部海域においてCODの環境基準を達成したが、H18年度は、全ての海域において環境基準を達成していないため、記述を修正する。</p>

地域の環境特性の現行・改定案対照表

現 行	改 定 案	改定の理由、考え方
<p>似島は、親水機能をもった自然海岸が存在し、釣りやハイキングの場として利用されている。</p> <p>江波山公園は憩いの場として、広島湾は釣りの場として、利用されている。</p> <p>広島湾は、牡蠣の養殖を主とした漁業が盛んに営まれている。</p> <p>デルタ沿岸部には自然海岸や人が海に触れ合える空間が少ないが、島しょ部にはまだ自然海岸が残っている。</p> <p>エ 環境への負荷</p> <p>広島湾に面する地域は、工場地帯としてエネルギーの消費量も多く、また、排出される温室効果ガス及び廃棄物が多い。</p> <p>(4) 安佐南区東部・高陽地域</p> <p>ア 環境の自然的構成要素の良好な状態の保持</p> <p>高陽地区は、大規模な住宅団地が開発され商業・業務機能等の集積が進んでいる。</p> <p>祇園地区は、比較的古くからの住工混在地区であるとともに、アストラムライン、JR可部線、国道54号が南北に走り、山陽自動車道が東西に横切る交通の要所として機能している地域である。</p> <p>広島インターチェンジ周辺は、郊外型の大規模店舗などの集積が著しい。</p> <p>アストラムライン沿線の平地部などでは、住宅建設が活発に行われている。</p> <p>大規模な住宅団地が近接して存在し、団地からの自家用車により、幹線道路及びその周辺道路では時間帯によって、交通渋滞が発生している。</p> <p>幹線道路の沿道では、自動車による大気汚染、騒音の影響が大きい。</p> <p><u>古川は、水質の汚濁を表す代表的な指標であるBODが環境基準を達成していない。</u></p> <p>イ 生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全</p> <p>山地部は、住宅団地の造成により、山林が減少しているが、ギフチョウなどの貴重な生物の生息域となっている。</p> <p>山地部のアカマツ林では、松枯れが進行しているが、一部では回復している。</p> <p>太田川が地域の中心を流れ、多様な生物の生息の場となっている。</p> <p>荒谷山国有林など良好な自然林もあるが、植林も多い。</p> <p>亀崎神社及び宇那木神社等点在する社叢には、すぐれた常緑広葉樹林がある。</p> <p>長束の蓮華松が県天然記念物に、温井八幡の乳下りイチョウが市天然記念物に指定されており、貴重な植生が多く存在する。</p> <p>ウ 人と自然との豊かな触れ合い</p> <p>武田山から太田川を横切り高陽地区にかけて中国自然歩道が設けられ、ハイキングなどに利用されている。</p> <p>太田川や三篠川は水遊びや釣りの場として、武田山及び権現山はハイキング、野鳥の観察の場として利用されている。</p> <p>武田山の銀山城跡、西願寺山墳墓群等が県史跡に指定されている。</p>	<p>(現行どおり)</p> <p>エ 環境への負荷</p> <p>(現行どおり)</p> <p>(4) 安佐南区東部・高陽地域</p> <p>ア 環境の自然的構成要素の良好な状態の保持</p> <p>(現行どおり)</p> <p><u>(削除)</u></p> <p>イ 生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全</p> <p>(現行どおり)</p> <p>ウ 人と自然との豊かな触れ合い</p> <p>(現行どおり)</p> <p><u>中小田古墳群が国史跡に</u>、武田山の銀山城跡、西願寺山墳墓群等が県史跡に指定されている。</p>	<p>古川は、H17年度のBODが1.5mg/Lであり、環境基準(B類型:3mg/L以下)が達成されたことから、削除する。</p> <p>中小田古墳群は、H8.11.11に国の史跡に指定されていることから、記述を加える。</p>

地域の環境特性の現行・改定案対照表

現 行	改 定 案	改定の理由、考え方
<p>(5) 西風新都地域</p> <p>ア 環境の自然的構成要素の良好な状態の保持 都心部の一極集中を避けるために、職住近接を目指した都市づくりの過程にある。 幹線道路の沿道では、自動車による大気汚染、騒音の影響が大きい。 <u>大塚川及び石内川は、水質の汚濁を表す代表的な指標であるBODが「ひろしま西風新都環境管理指針（平成元年3月）」に定める環境保全目標を達成していない。</u> 奥畑川は、良好な水質を保持している。</p> <p>イ 生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全 広域的な都市建設が進められており、山林が大きく減少している。 大規模な地形改変に伴い、土砂の流出の増大や水源かん養機能の低下が懸念される。 開発事業により、山林が大きく減少し、残存するアカマツ林では松枯れが進行している。 ギフチョウなど貴重な生物の生息域となっているが、開発事業による生息地の分断が進んでいる。 神原のシダレザクラは、県天然記念物に指定されている。 白山八幡神社には、貴重な巨樹群落が見られる。</p> <p>ウ 人と自然との豊かな触れ合い 都市景観に配慮された建物配置、土地利用が図られている。また、一部の住宅地では電線が地中化されている。 大茶白山から窓ヶ山にかけて、中国自然歩道が設けられ、ハイキングなどに利用されている。 奥畑川では、地元住民によるゲンジボタルの保護が図られている。</p> <p>(6) 可部地域</p> <p>ア 環境の自然的構成要素の良好な状態の保持 地域を通過する自動車が多く、時間帯によっては幹線道路及びその周辺道路で交通渋滞が発生している。 幹線道路の沿道では、自動車による大気汚染、騒音の影響が大きい。 太田川、南原川など、水質の良好な河川が流れている。</p> <p>イ 生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全 市街地の周辺には、白木山をはじめ大規模な山塊があり、多様な生物が生息している。 山地部のアカマツ林では、松枯れが進行しているが、一部では回復している。 福王寺山、南原峡、備前坊山及び三入八幡宮神社等社叢には、自然度の高い植物群落がある。 ギフチョウ等貴重な生物の生息域となっている。 山からまちにかけて河川が流れ、市街地には小河川・水路網が張り巡らされている 友広神社のイチョウ、可部町中野の千代の松などが、市天然記念物として指定されている。</p> <p>ウ 人と自然と豊かな触れ合い 市街地と古い街並みが残っている。</p>	<p>(5) 西風新都地域</p> <p>ア 環境の自然的構成要素の良好な状態の保持 } (現行どおり) <u>石内川の水質は改善傾向にあるが、大塚川の水質は改善傾向がみられない。</u></p> <p>イ (現行どおり)</p> <p>イ 生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全 } (現行どおり)</p> <p>ウ 人と自然との豊かな触れ合い } (現行どおり)</p> <p>(6) 可部地域</p> <p>ア 環境の自然的構成要素の良好な状態の保持 } (現行どおり)</p> <p>イ 生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全 } (現行どおり)</p> <p>ウ 人と自然と豊かな触れ合い } (現行どおり)</p>	<p>大塚川、石内川は環境基準の類型指定がされていないが、大塚川は H9年度の BOD が 4.6mg/L、H17 年度の BOD が 6.4mg/L、石内川は H9 年度の BOD が 3.5mg/L、H17 年度の BOD が 1.4mg/L であることから、その旨を記述する。</p>

地域の環境特性の現行・改定案対照表

現 行	改 定 案	改定の理由、考え方
<p>市街地周辺には、熊谷氏の遺跡、青古墳群等多くの史跡が存在し、旧街道の街並みとあわせて歴史的資源が豊富である。</p> <p>可部から福王寺の自然林，そして南原峡にかけて，県自然歩道が設けられ，ハイキングなどに利用されている。</p> <p>北部の南原峡は県自然公園に指定されており，自然とふれあうキャンプ場として市民に利用されている。</p> <p>中部の福王寺山は，県自然環境保全地域に指定されている。</p> <p>南原川，根谷川上流域はホタルの生息空間となっている。</p> <p>(7) 太田川中流域</p> <p>ア 環境の自然的構成要素の良好な状態の保持</p> <p>道路空間も快適であり，渋滞も少ない。集落が奥深い山あい形成されている。</p> <p>地域に工場等が少なく，環境の状況は総じて良好である。</p> <p>太田川は著しく蛇行しており，多様な地形・地質が見られる。</p> <p>太田川中流域は，水質が良好で，環境省の名水百選に選定されている。</p> <p>鈴張川，吉山川及び高山川は，良好な水質を保持している。</p> <p>イ 生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全</p> <p>大部分の地域が植林，自然林及び田畑で占められ，豊かな自然が残っている。</p> <p>地域の中心に太田川が流れており，貴重な自然環境資源になっている。</p> <p>太田川本流には，キシツツジ群落などの川岸植生が発達し，古生層からなる支流の宇賀峡，瀬谷などでは貴重な植物が多い。</p> <p>市域全体では松枯れが進むなか，まとまったアカマツ二次林が残っている地域もある。</p> <p>阿戸のモミ林，川井のアラカシ ナンテン群落等貴重な群落がある。</p> <p>宮野八幡神社の大工ノキ，阿刀明神社の社叢，中の森八幡神社のアラカシ，筒瀬八幡神社の社叢，養山八幡神社の社叢などが市天然記念物に指定されている。</p> <p>ウ 人と自然との豊かな触れ合い</p> <p>山地が多く，林業が比較的盛んに営まれている。</p> <p>谷あいには棚田があり，里山の環境が残されている。</p> <p>吉山川一帯及び鈴張川等の一帯は，農用地区域（将来とも農用地等として利用すべき土地の区域）が広がっている。</p> <p>太田川は，どの流域も非常に景観・親水性に優れ，多くの場所で釣り，水浴，キャンプなどレクリエーションの場として利用されている。</p> <p>鈴張川，小河内川，高山川，吉山川上流域は，ホタルの生息空間となっている。</p> <p>宇賀峡は，自然とのふれあいの場として，ハイキングなどで利用されている。</p> <p>花みどり公園には四季の花を見るため，安佐動物公園には動物との触れ合いや観察のため，多くの市民が訪れている。</p>	<p>市街地周辺には，<u>県指定</u>の熊谷氏の遺跡，<u>市指定</u>の青古墳群等多くの史跡が存在し，旧街道の街並みとあわせて歴史的資源が豊富である。</p> <p>(現行どおり)</p> <p>(7) 太田川中流域</p> <p>ア 環境の自然的構成要素の良好な状態の保持</p> <p>(現行どおり)</p> <p>イ 生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全</p> <p>(現行どおり)</p> <p>ウ 人と自然との豊かな触れ合い</p> <p>(現行どおり)</p> <p>宇賀峡は，自然との<u>触れ合い</u>の場として，ハイキングなどで利用されている。</p> <p>(現行どおり)</p>	<p>文化財等について、指定の主体を明記する。</p> <p>字句の統一のため。</p>

地域の環境特性の現行・改定案対照表

現 行	改 定 案	改定の理由、考え方
<p>(8) 三篠川流域</p> <p>ア 環境の自然的構成要素の良好な状態の保持 大屋敷の溪谷や正木の大滝・小滝など貴重な地形が存在している。 三篠川、関川などは、良好な水質を保持している。</p> <p>イ 生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全 大部分の地域が植林、自然林、田畑等で占められ、豊かな自然が残っている。 市街地周辺には、白木山をはじめ大規模な山塊があり、多様な生物が生息している。 栄堂川周辺には、里山の環境がある。 白木山のブナ林をはじめ、鎌倉寺山及び長者山には、貴重な群落がある。 山地部のアカマツ林では、松枯れが進行しているが、一部では回復している。 ギフチョウ等貴重な生物の生息域となっている。 新宮神社の大イチョウが、市天然記念物に指定されている。</p> <p>ウ 人と自然との豊かな触れ合い 三篠川の両岸一帯は、農用地区域（将来とも農用地などとして利用すべき土地の区域）が広がっている。 栄堂川周辺には、里山景観が見られる。 三篠川は、水浴、釣り等レクリエーションの場として市民に利用されている。 三篠川中流域は野鳥の飛来地域となっている。 湯坂川流域はホタルの生息地域となっている。 白木山、神ノ倉山は、自然との触れ合いの場としてハイキングなどに利用されている。</p> <p>(9) 安芸地域</p> <p>ア 環境の自然的構成要素の良好な状態の保持 瀬野川に沿った地域は、中・小規模の工場・事業場が多く建ち並んでいる。 少ない平野部に古くからの住宅が建ち並び、山あいには新興住宅地が建設されつつある。 幹線道路は、地域を通過する自動車が多く、また、住宅団地からの自家用車により、時間帯によっては、交通渋滞が発生している。 <u>瀬野川下流区域では、水質の汚濁を表す代表的な指標であるBODが環境基準を達成していない。</u></p> <p>イ 生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全 瀬野川流域は、平野部が少なく、急峻な山地が連なっている。 瀬野川の中上流域、藤ヶ丸及び呉婆々宇山塊には良好な自然植生が残され、また、植林地もある。 蓮華寺山等山地のアカマツ林では、松枯れが進行しているが、一部では回復している。 馬木八幡神社、切幡神社には、シイを主体とした貴重な植物群落がある。 馬木八幡神社の社叢が県天然記念物、切幡神社の大ケヤキとシイ林が市天然記念物に指定されている。 山地部は、二次林や植林が多く、自然度の高い森林は少ないが、ギフチョウなど貴重な生物の生息域となっている。</p>	<p>(8) 三篠川流域</p> <p>ア 環境の自然的構成要素の良好な状態の保持 } (現行どおり)</p> <p>イ 生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全 } (現行どおり)</p> <p>ウ 人と自然との豊かな触れ合い } (現行どおり)</p> <p>(9) 安芸地域</p> <p>ア 環境の自然的構成要素の良好な状態の保持 } (現行どおり) <u>(削除)</u></p> <p>イ 生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全 } (現行どおり)</p>	<p>瀬野川は、H17年度のBODが1.6mg/Lであり、環境基準（B類型：3mg/L以下）が達成されたことから、削除する。</p>

地域の環境特性の現行・改定案対照表

現 行	改 定 案	改定の理由、考え方
<p>ウ 人と自然との豊かな触れ合い</p> <p>熊野川に沿って、農用地区域（将来とも農用地などとして利用すべき土地の区域）が広がっている。</p> <p>瀬野川が、地域の中心を流れており、親水性の高い空間となっている。</p> <p>熊野川、瀬野川上流域は、ホタルの生息空間となっている。</p> <p>矢野地区から温品地区にかけて中国自然歩道が設けられ、ハイキングなどに利用されている。</p> <p>木の宗山銅鐸銅剣出土地、豊谷弥生遺跡群、矢野城跡など、多くの史跡が存在している。また、船越町、矢野町には古い街並みが見られる。</p> <p>蓮華寺山は、県緑地環境保全地域に指定されるとともに、憩いの森として整備されている。</p> <p>呉婆々宇山や藤ヶ丸山などの山地には、森林公園や緑化植物公園が整備され、植物の観察及び憩いの場として利用されている。また、絵下山公園は、自然と親しむ憩いの場として利用されている。</p> <p>(10) 五日市地域</p> <p>ア 環境の自然的構成要素の良好な状態の保持</p> <p>南側の平地は市街地になっている。中北部の山地には、斜面地を利用した住宅が多く建ち並んでいる。</p> <p>大規模な住宅団地が近接して存在し、団地からの自家用車により、幹線道路及びその周辺道路では時間帯によって、交通渋滞が発生している。</p> <p>幹線道路の沿道では、自動車による大気汚染、騒音の影響が大きい。</p> <p><u>八幡川下流では、水質の汚濁を表す代表的な指標であるBODが環境基準を達成していない。</u></p> <p>イ 生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全</p> <p>地域の中心を八幡川が流れており、また、急峻な山地が北部を占めている。</p> <p>山地部は、住宅団地の造成により、山林が減少しているが、ギフチョウなど貴重な生物の生息域となっている。</p> <p>山地部のアカマツ林では、松枯れが進行しているが、一部では回復している。</p> <p>窓ヶ山・魚切渓谷には、一部に良好な自然植物が残されている。</p> <p>極楽寺山では、森林環境の良好さの指標となるカラ類などが繁殖している。</p> <p>ウ 人と自然との豊かな触れ合い</p> <p>窓ヶ山から五日市市街地にかけて山地部を縫うように、中国自然歩道が設けられ、ハイキングなどに利用されている。</p> <p>八幡川は、市民のレクリエーション・イベント等にも活用されている。</p> <p>魚切ダム及び極楽寺山は、野鳥の観察場所として、広島市植物公園は、植物の観察及び憩いの場として市民に利用されている。</p>	<p>ウ 人と自然との豊かな触れ合い</p> <p>（現行どおり）</p> <p><u>県指定</u>の木宗山銅鐸銅剣出土地、豊谷弥生遺跡群、矢野城跡など、多くの史跡が存在している。また、船越町、矢野町には古い街並みが見られる。</p> <p>（現行どおり）</p> <p>(10) 五日市地域</p> <p>ア 環境の自然的構成要素の良好な状態の保持</p> <p>（現行どおり）</p> <p><u>（削除）</u></p> <p>イ 生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全</p> <p>（現行どおり）</p> <p>ウ 人と自然との豊かな触れ合い</p> <p>（現行どおり）</p>	<p>文化財等について、指定の主体を明記する。</p> <p>八幡川下流は、H17年度のBODが1.7mg/Lであり、環境基準（B類型：3mg/L以下）が達成されたことから、削除する。</p>

地域の環境特性の現行・改定案対照表

現 行	改 定 案	改定の理由、考え方
	<p><u>(11) 水内川流域</u></p> <p><u>ア 環境の自然的構成要素の良好な状態の保持</u> <u>集落が深い谷あい形成されている。</u> <u>水内川は、良好な水質を保持している。</u></p> <p><u>イ 生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全</u> <u>大部分の地域が植林、自然林及び田畑で占められ、豊かな自然環境が残っている。</u> <u>地域の中心を水内川が流れており、貴重な自然環境資源となっている。</u> <u>恵下谷国有林の保護林は、自然植生としてすぐれている。</u> <u>東郷山、大峯山の頂上付近には、ブナ林が見られる。</u> <u>大歳神社のムクロジが市天然記念物に指定されている。</u></p> <p><u>ウ 人と自然との豊かな触れ合い</u> <u>森林帯で耕地が少なく、林業が主な産業である。</u> <u>水内川上流部は、ホタルの生息地域となっている。</u> <u>湯来温泉、湯の山温泉は、県を代表する温泉地として古くから、親しまれている。</u> <u>石ヶ谷峡、大峰山、湯の山は、県自然環境保全地域として、東山溪谷が県緑地環境保全地域として指定されている。</u> <u>石ヶ谷峡は県の名勝に、湯ノ山明神旧湯治場は国の重要有形民族文化財及び県史跡に指定されている。</u></p> <p><u>(12) 八幡川上流域</u></p> <p><u>ア 環境の自然的構成要素の良好な状態の保持</u> <u>丘陵を利用した住宅団地が立地している。</u> <u>八幡川上流は、良好な水質を保持している。</u> <u>地域には工場等が少なく、環境の状況は、総じて良好である。</u></p> <p><u>イ 生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全</u> <u>八幡川の源流域であり、豊かな自然に恵まれている。</u> <u>比較的傾斜の緩やかな山麓地や丘陵が存在する。</u> <u>重光神社のカヤが市天然記念物に指定されている。</u></p> <p><u>ウ 人と自然との豊かな触れ合い</u> <u>砂谷地区は、酪農を中心とした農業が盛んである。</u> <u>阿弥陀山は、ハイキングなどに利用されている。</u></p>	<p>環境基本計画に基づき、旧湯来町地域を2つの流域別に環境特性を記述する。</p> <p>H18年度に作成した広島市の生物（補遺版）において、絶滅危惧（群落）として選定されたことから、記述を加える。</p>